

宝蔵院流槍術と「成育管理指導協定」締結

2016 (H28) 年 12 月 1 日 15:00-

奈良県森林技術センターは、槍柄用樫苗の育林・管理・指導について、奈良宝蔵院流槍術保存会会長 花山院 弘匡氏（春日大社宮司）を立会人として、宝蔵院流槍術と「成育管理指導協定」を締結しました。



場所：奈良市春日野町 160
春日大社 貴賓館

前列 右から
伊藤 貴文
奈良県森林技術センター所長

花山院 弘匡（春日大社宮司）
奈良宝蔵院流槍術保存会会長

一箭順三
宝蔵院流高田派槍術宗家

今回、締結した成育管理指導協定は、460 年余りに渡って受け継がれてきた槍術文化を支えるという側面から単にカシ林の成長を調べるという範疇を超えて、歴史・伝統・文化に直接関わることとなります。槍柄用を目的としたカシ林の育成は全国でも例がないと思われれます。また、森林技術センターはこれまで、次代検定林としてスギ・ヒノキ林の成長を長期に渡って調査をしてきていますが、文化・伝統が背景となる調査は初めてのことで、今後、50 年にわたって目的となる槍柄が収穫できるように調査および指導を行っていくこととなります。